

# 入札等参加資格審査入力票(物品等)

※ **朱書き**で記入し、**2ページ**とも提出すること。

物品・役務-1/2

※ ここには何も記入しないこと。

受付番号					
------	--	--	--	--	--

フリガナは、濁点、半濁点も1文字として扱い、左詰めで記入すること(法人の種類を表す文字は記入しないこと)

商号または名称 ※左詰めで記入すること。	
カナ	
漢字	

左詰めで記入すること(濁点、半濁点は1文字として扱わないこと)法人の種類を表す文字については、右下表の略号を用いること。

代表者役職名(漢字)

左詰めで記入すること(それぞれ姓と名前の間には空白を入れること)

代表者氏名	
カナ	
漢字	

濁点、半濁点は1文字として扱い、左詰めで記入すること

法人の種類を表す略号表

種類	略号
株式会社	(株)
有限会社	(有)
合資会社	(資)
合名会社	(名)
協同組合	(同)
協業組合	(業)
企業組合	(企)
一般財団法人	(財)
一般社団法人	(社)

## 本店所在地

※市町村コードは、所在地が栃木県内の場合のみ記入すること。

郵便番号	都道府県コード* 都道府県名(漢字)	市町村コード*	本店所在地市区町村名(漢字)

↑ 都道府県コード表を参照

※左詰めで記入すること。また、「大字」「字」の文字は記入しないこと。また、「丁目」「番」「号」は「一」を用いること。

町名・番地・ビル名等

市外局番、局番、番号を「一」で区切り、左詰めで記入すること

電話番号	FAX番号

左詰めで記入すること。代理人を置く場合は記入しないこと(代理人を置く営業所等でメールアドレスがない場合は記入すること)

Eメールアドレス1

## 希望する営業種目(必ず記入。また、記載内容は申請書と一致するように記載すること。)

希望する大分類の記号及び小分類の番号を記入すること。

営業経歴書と同じ金額を記載すること

大分類	小分類	具体的営業種目(40文字以内で取り扱い品目等を簡潔に記入してください。)	年間平均実績高(千円)

- 申請可能な業種数は市内業者6業種まで、市外業者4業種までとします。
- 物品及び役務提供の両方を希望する場合は、上記1の条件プラス2業種まで申請可とします。ただし、物品及び役務とも上記1の制限数を超えて希望することは出来ません。  
例) 市内業者が物品7業種 役務1業種の申請は不可

受付番号				
------	--	--	--	--

※金額は全て右詰で記入すること。

直前実績高(千円)	資本金(千円)	自己資本金(千円)

営業年数	従業員総数	うち佐野市内営業所の勤務数	佐野市内営業所の有無	消費税免税区分
			有 0 無 1	課税 0 免税 1

※ 代理人営業所名、代理人氏名、並びに所在等は、代理人を置く場合にのみ記入すること。

代理人営業所名(漢字)

途中に空白を入れず、左詰めで記入すること(営業所名等のみ記入し、商号は記載しないこと。)

代理人役職名(漢字)	代理人氏名
	カナ 漢字

左詰めで記入すること(欄が不足の際は続きを欄外に記入)  
濁点、半濁点は1文字として扱い、左詰めで記入すること  
(それぞれ姓と名前の間には空白を入れること)

代理人営業所所在地

郵便番号	都道府県コード	都道府県名(漢字)

都道府県コード表を参照

※市町村コードは、所在地が栃木県内の場合のみ記入すること。

市町村コード	市区町村名(郡名は記載しないこと。)

代理人所在地市区町村名意向の住所きを左詰めで記入すること(「大字」、「字」の文字は記入しないことまた、「丁目」、「番」、「号」は「-」を用いること)

町名・番地・ビル名等

市外局番、局番、番号を「-」で区切り、左詰めで記入すること

電話番号	FAX番号

左詰めで記入すること ※フリーメールアドレスは、不可とします

Eメールアドレス

代理店・特約店

取扱メーカー(特約店・代理店除く)

許認可資格名	取得年月日			
	元号	年	月	日

元号はR. H. S. Tで記入してください